

# 特別研究員の申請における注意点

令和7年2月3日  
 独立行政法人日本学術振興会(JSPS)  
 人材育成事業部 研究者養成課



**特別研究員-DC**  
 令和8(2026)年度採用分

特別研究員-DCは、優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題を選びながら研究に専念する機会を提供する制度です。

**募集要項**  
 2026年4月1日現在、博士号取得後、専攻分野の大学院生として在学していること

**対象職種**  
 DC1  
 2026年4月1日～2029年3月31日(3年間)

**DC2**  
 2026年4月1日～2028年3月31日(2年間)

**研究費**  
 月額200,000円

**申請方法**  
 ・申請書類を電子申請システム(DC-ポータル)を介して提出し、電子申請システム上で申請書を作成し、申請書類を通じて受理を行う。

独立行政法人日本学術振興会  
 Japan Society for the Promotion of Science



**特別研究員-PD 募集**  
 令和8(2026)年度採用分

優れた若手研究者に、その研究生活の中期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題を選びながら研究に専念する機会を提供します。

**募集要項**  
 2026年4月1日現在、博士号取得後、専攻分野の大学院生として在学していること

**対象職種**  
 DC1  
 2026年4月1日～2029年3月31日(3年間)

**DC2**  
 2026年4月1日～2028年3月31日(2年間)

**研究費**  
 月額200,000円

**申請方法**  
 ・申請書類を電子申請システム(DC-ポータル)を介して提出し、電子申請システム上で申請書を作成し、申請書類を通じて受理を行う。

独立行政法人日本学術振興会  
 Japan Society for the Promotion of Science



**特別研究員-RPD 募集**  
 令和8(2026)年度採用分

優れた若手研究者が海外・官庁による研究機会に肉付けに研究職に復帰する機会を提供するため、特別研究員(RPD)制度を創設します。

**募集要項**  
 2026年4月1日現在、博士号取得後、以下が適用することができます。

**対象職種**  
 DC1  
 2026年4月1日～2029年3月31日(3年間)

**DC2**  
 2026年4月1日～2028年3月31日(2年間)

**研究費**  
 月額200,000円

**申請方法**  
 ・申請書類を電子申請システム(DC-ポータル)を介して提出し、電子申請システム上で申請書を作成し、申請書類を通じて受理を行う。

独立行政法人日本学術振興会  
 Japan Society for the Promotion of Science



**特別研究員-RPD 募集**  
 令和8(2026)年度採用分

優れた若手研究者が海外・官庁による研究機会に肉付けに研究職に復帰する機会を提供するため、特別研究員(RPD)制度を創設します。

**募集要項**  
 2026年4月1日現在、博士号取得後、以下が適用することができます。

**対象職種**  
 DC1  
 2026年4月1日～2029年3月31日(3年間)

**DC2**  
 2026年4月1日～2028年3月31日(2年間)

**研究費**  
 月額200,000円

**申請方法**  
 ・申請書類を電子申請システム(DC-ポータル)を介して提出し、電子申請システム上で申請書を作成し、申請書類を通じて受理を行う。

独立行政法人日本学術振興会  
 Japan Society for the Promotion of Science

# 目次

01 | 申請に当たってまず確認すべきこと

02 | 申請書作成における注意点

# 01 | 申請に当たって まず確認すべきこと



## 申請時に確認すべき書類等

申請時には、下記の書類を確認してください。すべて本会ウェブサイトに掲載しています。

### 【1】申請に関わる書類

1. 募集要項
2. 申請書様式
3. 申請書作成要領等
4. 申請に関するQ&A
5. 募集等に関する説明資料(スライド資料)

### 【2】採用期間中の条件に関わる書類

1. 該当する「遵守事項及び諸手続の手引」(「DC及びフェローシップ型PD・RPD」又は「雇用PD・RPD」のどちらか)
2. 雇用条件等(雇用PD・RPDのみ)

### 【3】申請手続(電子申請システムの操作)に関わる書類等

1. 電子申請システム体験版(3月中旬頃公開)
2. 電子申請システム申請者向け操作手引(3月中旬頃公開)

PD・RPD申請者は  
必ず確認！

## 特別研究員-PD・RPDの受入研究機関の選定に係る注意点



令和5(2023)年度より「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」を実施しています。

「特別研究員-PD等の雇用制度導入機関」に登録された機関を受入研究機関とし受入研究機関に雇用されるPD・RPDと、雇用されないPD・RPDとは、受入方法や採用内定後の取扱いが異なりますので、受入研究機関の選定にあたってご注意ください。

雇用制度導入機関



<https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd-koyou/tourokukikan.html>

まずは受入研究機関が  
雇用制度導入機関かチェック！

Yes

雇用PD・RPD

- ・原則全員雇用
- ・月額362,000円(研究奨励金と同額)を下限として、受入研究機関から給与支給
- ・雇用条件(待遇・所定就労日・就労場所等)は、受入研究機関ごとに異なる
- ・雇用条件等も受入研究機関に事前にチェック！
- ・雇用PD・RPDの「遵守事項および諸手続の手引」が適用される

No

フェローシップ型PD・RPD

- ・月額362,000円(研究奨励金)をJSPSから直接支給
- ・フェローシップ型PD・RPDの「遵守事項および諸手続の手引」が適用される

## 02 | 申請書作成に おける注意点



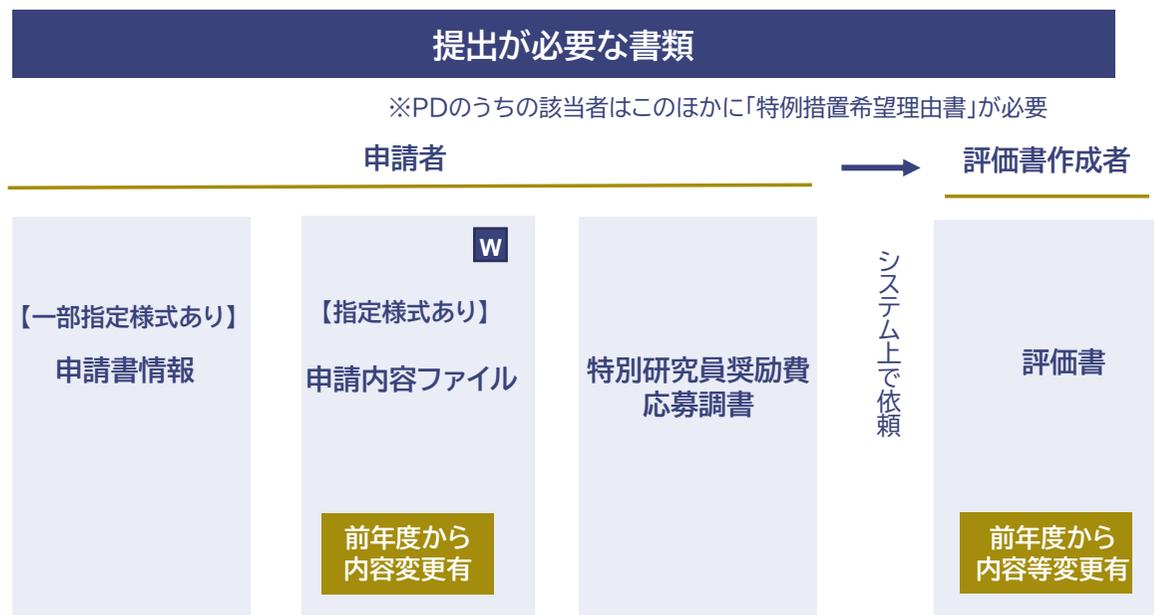
# 申請方法・申請書の構成

申請機関を通してID・パスワードを取得の上、電子申請システムにて申請書類を提出できます

電子申請 申請者ログイン画面イメージ



ID・パスワード  
発行は申請機関へ



電子申請システムにて、申請機関に提出

申請機関	
DC1申請	申請時に在学する大学院又は出身の大学院へ
PD、RPD、DC2申請	受入研究機関(採用後に在籍する機関)へ

※DC1申請者で、海外の大学院出身/在学中の場合は、受入研究機関(採用後に在籍する機関)へ

## (ア)申請書情報作成においてよくある質問

### ●申請書情報の学歴、博士の状況等の「別紙」について

- システム入力欄に必要事項をすべて記載できなかった場合や、その他特筆すべき事項（出産・育児等（介護も含む）のライフイベントに伴う一時的な研究業績の減少により、配慮を要する場合を含む）がある場合は、記載してください。

### ●【DC申請者】⑪博士の特記事項の有無、⑫現在の研究指導者、⑬採用後の受入研究者

- 現在の学籍上の指導教員はA教員だが、実際の研究指導はB教員から受けていることが多い場合でも、「現在の研究指導者」欄には学籍上の指導教員であるA教員の氏名を記入し、評価書の作成はA教員が行ってください。その際に、参考としてA教員がB教員に申請者の様子を聴取することは差支えありません。評価書は学籍上の研究指導者の責任に基づき記入してください。
- DCの「現在の研究指導者」「採用後の受入研究者」は学籍の内容に基づいて記入するものです。今一度「申請書作成要領」の該当部分を確認し、それでも不明な点があれば、本会へお問合せください。（DC申請書作成要領等参照）

### ●【PD・RPD申請者】⑬出身大学院の研究指導者（PD）／⑲出身大学院の研究指導者（RPD）

- 大学院博士課程修了当時の学籍上の指導教員はA教員だが、博士課程の途中まではB教員の指導を受けていたという場合（博士課程在学中で指導教員の退官、異動等があった場合）、指導を受けた期間の長短に関わらず、修了当時の学籍上の研究指導者を「出身大学院の研究指導者」としてください。（PD, RPD申請書作成要領等参照）

## (イ)申請内容ファイル作成における留意点

- 申請者が、Wordファイルで作成したものをPDF化してシステムにアップロードするもの。
- 申請内容ファイルの内容の見直しを行いました。指示書きをよく読み、問われていることに従って作成してください。
- 令和7年度採用分以前の申請内容ファイルを用いることはしないでください。

### 【参考】従来(DC及びRPD:合計7頁/ PD:合計8頁)

#### 【2】研究計画【3頁】

- (1)研究の位置づけ(1頁)
- (2)研究目的・内容等(2頁)

#### 【3】人権の保護及び法令等の遵守への対応【1頁】

#### 【4】研究遂行力の自己分析【2頁】

- (1)研究に関する自身の強み
- (2)今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素

PDは【2】(3)として受入研究室の選定理由(1頁)

#### 【5】目指す研究者像等【1頁】

- (1)目指す研究者像
- (2)上記の「目指す研究者像」に向けて、特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ

### 令和8年度採用分(合計6頁/ PDは合計7頁)

#### 【2】研究計画【3頁】

- (1)研究の概要及び研究の位置づけ(1頁)
- (2)研究目的・内容等(2頁)

PDは【2】(3)として受入研究室の選定理由(1頁)

#### 【3】人権の保護及び法令等の遵守への対応【1頁】

#### 【4】研究遂行力の自己分析【2頁】



## (イ)申請内容ファイル

### 【2】研究計画 (1)研究の概要及び研究の位置づけ

- まず、研究課題名及び研究の概要を500字程度で記入してください。
- 続けて、特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

【2】研究計画 適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。様式の変更・追加は不可です。

(1) 研究の概要及び研究の位置づけ 本項目は1頁に収めてください。

- ・まず、研究課題名及び研究の概要を500字程度で記入してください。
- ・続けて、特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

研究課題名：●●●●●

↑  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←  
←

## (イ)申請内容ファイル

### 【2】研究計画 (2)研究目的・内容等

- ① 略
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、特別研究員奨励費の応募区分(下記(※)参照)に応じて、年次計画を示し、具体的に記入してください。研究計画が想定通り進まなかった場合の対応方法があれば、あわせて記入してください。
- ③ 以下略

### 【2】研究計画 (続き) 適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。様式の変更・追加は不可です。

- (2) 研究目的・内容等 本項目は2頁に収めてください。
- ① 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
  - ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、特別研究員奨励費の応募区分(下記(※)参照)に応じて、年次計画を示し、具体的に記入してください。研究計画が想定通り進まなかった場合の対応方法があれば、あわせて記入してください。
  - ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
  - ④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。
  - ⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

※DCの申請内容ファイルの例

## (イ)申請内容ファイル

### 【3】人権の保護及び法令等の遵守への対応

- (略)
- 例えば、(略)、侵襲性を伴う研究、インフォームド・コンセントが必要な研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験、機微技術に関わる研究など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。
- (略)

### 【3】人権の保護及び法令等の遵守への対応 本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。←

- ・本欄には、「【2】研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究や安全保障貿易管理を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記入してください。←
- ・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、インフォームド・コンセントが必要な研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験、機微技術に関わる研究など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。←
- ・なお、該当しない場合には、その旨記入してください。←

## (イ)申請内容ファイル

### 【4】研究遂行力の自己分析

- 日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、研究遂行力について分析してください。
- 根拠となるこれまでの研究活動の成果物(論文等)がある場合には、まず成果物の一覧を掲載し、見出し番号を付してください。続く文章では、適宜成果物に言及しながら(言及の際には見出し番号で示すこと)記入してください。
- 記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。
- 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素や意欲的に取り組みたいと考えている事項についても記入してください。

#### 【4】研究遂行力の自己分析 本項目は2頁に取めてください。様式の変更・追加は不可です。

・日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、研究遂行力について分析してください。

(注) 本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。

・根拠となるこれまでの研究活動の成果物(論文等)がある場合には、*まず成果物の一覧を掲載し、見出し番号を付してください。*続く文章では、*適宜成果物に言及しながら(言及の際には見出し番号で示すこと)記入してください。*

・成果物(論文等)は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。

・学術論文の場合：著者、題名、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載し、査読の有無を明らかにしてください。投稿中で採録が決定していない場合は、「投稿中」と記載してください。

・研究発表の場合：著者、題名、発表した学会名、場所、年・月を記載し、口頭・ポスターの別を明らかにしてください。

#### 【成果物一覧の例】

1. 論文 . . . . .
2. 論文 . . . . .
3. 研究発表(口頭) . . . . .
4. 受賞

・記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。

・今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素や意欲的に取り組みたいと考えている事項についても記入してください。

## (ウ)評価書(DC)

- 申請者からの依頼(システムにて操作)を受け、「⑫現在の受入研究者」が作成するもの。
- 以下の項目について、具体的に入力してください。
- 特筆すべき事項(出産・育児等のライフイベントに伴う一時的な研究業績の減少により、配慮を要する場合を含む)がある場合は記載してください。
- 入力にあたっては、アンコンシャス・バイアスをできるだけ排除するようにしてください。
- 内容と文字数の見直しを行いました。

### 【参考】従来(合計半角8,000文字以内)

- (1)研究者としての強み…半角2,000文字以内
- (2)今後研究者として更なる発展のために必要と考えている要素…半角2,000文字以内
- 申請者の研究者としての将来性について(特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学会活動など、申請者の将来性を判断する上で特に参考と思われる事項)…半角4,000文字以内

### 令和8年度採用分以降(合計半角4,000文字以内)

- (1)研究者としての強み(申請者の将来性を判断する上で特に参考と思われる事項を含む)…半角3,000文字以内
- (2)今後研究者として更なる発展のために必要と考えている要素…半角1,000文字以内

## (ウ)評価書(PD)

- 申請者からの依頼(システムにて操作)を受け、1:「⑮採用後の受入研究者」、2:「申請者の研究をよく理解している研究者」が作成するもの。
- 以下の項目について、具体的に入力してください。
- 特筆すべき事項(出産・育児等のライフイベントに伴う一時的な研究業績の減少により、配慮を要する場合を含む)がある場合は記載してください。
- 入力にあたっては、アンコンシャス・バイアスをできるだけ排除するようにしてください。
- 内容と文字数の見直しを行いました。

**【参考】従来(評価者1:合計半角8,000文字以内/評価者2:合計4,000文字以内)**

- (1)研究者としての強み…半角2,000文字以内
- (2)今後研究者として更なる発展のために必要と考えている要素…半角2,000文字以内
- (評価者1のみ)申請者を受け入れるに当たっての「受入(指導)計画」、受入研究者自身又は研究室で行っている研究と申請者の研究との関連性、期待される相乗効果について…半角4,000文字以内

**令和8年度採用分以降(評価者1:合計半角8,000文字以内/評価者2:合計4,000文字以内)**

- (1)研究者としての強み…半角3,000文字以内
- (2)今後研究者として更なる発展のために必要と考えている要素…半角1,000文字以内
- (評価者1のみ)申請者を受け入れるに当たっての「受入(指導)計画」、受入研究者自身又は研究室で行っている研究と申請者の研究との関連性、期待される相乗効果について…半角4,000文字以内

## (ウ)評価書(RPD)

- 申請者からの依頼(システムにて操作)を受け、1:「⑳ 研究中断前の受入研究者」「㉑ 現在の受入研究者」「㉒ 採用後の受入研究者」のいずれか、2:「申請者の研究をよく理解している研究者」が作成するもの。
- 以下の項目について、具体的に入力してください。
- 特筆すべき事項(出産・育児等のライフイベントに伴う一時的な研究業績の減少により、配慮を要する場合を含む)がある場合は記載してください。
- 入力にあたっては、アンコンシャス・バイアスをできるだけ排除するようにしてください。
- 内容と文字数の見直しを行いました。

### 【参考】従来(合計4,000文字以内)

- (1)研究者としての強み…半角2,000文字以内
- (2)今後研究者として更なる発展のために必要と考えている要素…半角2,000文字以内

### 令和 8 年度採用分以降(合計4,000文字以内)

- (1)研究者としての強み…半角3,000文字以内
- (2)今後研究者として更なる発展のために必要と考えている要素…半角1,000文字以内

## (工)【2】研究計画 別添 特別研究員奨励費応募調書

PDは (才) 【2】研究計画 別添 特別研究員奨励費応募調書

- 特別研究員奨励費の応募に当たり、「研究経費とその必要性」および「研究費の応募・受入等の状況」を記載するもの。
- 電子申請システムに直接入力してください。
- 特別研究員奨励費は特別研究員の申請と同時に受け付けますので、特別研究員奨励費を必要とする場合は、今回必ず応募してください。
- 例年、応募金額の誤入力が発生しています。応募金額単位は千円単位(例:10万円ならば100千円)であることに十分注意してください。

【2】研究計画 別添  
研究経費とその必要性

特別研究員奨励費 (特別研究員)  
(金額単位:千円)

応募区分

研究経費 (千円未満の 端数は切り 捨てる)	年度	研究費 (千円)	研究費の応募・受入等の状況 (1) 応募中の研究費			特別研究員奨励費 (特別研究員)		
			研究費名 募集制度・研究 費名 (研究期間 ・配分標準等名)	募集 額	2026年度 の応募額 (配分標準等名)	研究内容の関連性及び総合研究費に加えて 特別研究員奨励費 (特別研究員)	募集 額	2026年度 の応募額 (配分標準等名)
総計								
投資備品費の明細			(2) 受入予定の研究費					
年度	投資備品名 品名・仕様		募集制度・研究 費名 (研究期間 ・配分標準等名)	募集 額	2026年度 の応募額 (配分標準等名)	研究内容の関連性及び総合研究費に加えて 特別研究員奨励費 (特別研究員)	募集 額	2026年度 の応募額 (配分標準等名)
					(千円)			(千円)
					(千円)			(千円)
					(千円)			(千円)
					(千円)			(千円)
					(千円)			(千円)
					(千円)			(千円)
					(千円)			(千円)
					(千円)			(千円)
設備備品費、消耗品費の必要性								

- 12 -

※DCの応募調書の例

## お問い合わせ先

ご不明な点がある場合は、担当までお問合せください。



特別研究員(DC/PD/RPD)

人材育成事業部 研究者養成課  
募集・採用担当  
yousei2@jsps.go.jp  
03-3263-5070